

会議録

1 機関の名称

犬山市文化の薫り高いまちづくり事業選定審査会

2 開催日時

令和6年2月20日(火) 午後2時から3時まで

3 開催場所

南部公民館 会議室1

4 出席した者の氏名

(1) 委員 横井耕市(委員長)、堀 美鈴、木澤和子、佐藤正之
(欠席：赤塚次郎)

(2) 執行機関 坂野文化スポーツ課長(以下「同課」という。)、江口同課課長補佐(犬山市民文化会館館長)、中島同課統括主査

5 議題

- (1) 審査事業について
- (2) 審査
- (3) 審査結果

6 傍聴人の数

0人

7 内容

(1) 審査事業について

(事務局から4事業の内容について要望書を基に説明)

横井委員長：審査要領では、審査委員が事業提案のあった団体の意思決定に関与する関係者であるときは、当該委員は当該事業の評価を行わないとなっているが、今回の4事業について委員の中で該当する者はいないか。

全委員：該当者なし。

(2) 審査(犬山市情報公開条例第8条第3号の規定により非公開)

(3) 審査結果

4事業とも、犬山市文化の薫り高いまちづくり事業選定に係る審査要領第2条第3号の要件を満たしており、選定事業として内定。

- ① 雲錦茶会
- ② 彫刻村 in 犬山 2024
- ③ 第16回 鈴木しづ子顕彰会 小中高生「いのちの俳句大会」
- ④ 第27回 大縣神社梅まつり茶会・いけ花展

<関連し、本補助金に関し委員間で意見交換>

- ・ 補助対象要件を「過去3年間に、毎年1回以上の事業実績」としているが、なかなか小さな団体や個人にはハードルが高く感じる。継続性のある事業を対象として

いることは承知しているが、補助額の上限が5万円という金額でもあり、文化事業の支援という意味では、若い方や小さい団体が一つの段階として使えるようなものになるとよいのではないか。

- ・ 規模の大きな事業に対しては、より補助額を増額できるとよいのでは。
- ・ 各申請事業については、各々素晴らしい取り組みがなされていることが資料を見るとよくわかる。ぜひこの取り組みの周知がさらになされると良い。
- ・ これらの事業のチラシやパンフレットに「この事業は『犬山市文化の薫り高いまちづくり事業補助金』を活用して実施しています」などの文言を入れてもらうことができれば、同様の事業を検討している方に対して、この補助金の周知にもなるかと思われる。
- ・ 各事業の終了後に報告がなされていると思うが、例えば「1,000人の参加者があった」など、数字として実績値を出してもらえると、より効果について説明ができるのではないか。
- ・ 犬山市の中でも地域によっても文化事業の多い場所、少ない場所がある。各地域の文化を振興するための助成となることを期待する。

令和6年 3月 5日

上記に相違ないことを確認する。

(署名) 坂 美 鈴

(署名) 佐藤 正之